

KONISHI REPORT

第89期 株主通信

平成25年4月1日～平成26年3月31日

 **コニシ株式会社**
証券コード:4956



代表取締役社長 よこ た かし
横田 隆

当連結会計年度におけるわが国経済は、平成25年に入ってから急激な円高の修正や株価の上昇を追い風に企業収益が改善し、設備投資が増加傾向となったことに加え、年度半ば以降には東京オリンピック開催決定に伴う公共投資の増加や、消費税増税前の駆け込み需要の発生などにより、回復局面が継続しました。海外につきましては、中国などの新興国経済の減速懸念などの下振れリスクもあり、不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては、景気回復に伴う期待感や消費税増税前の駆け込み需要により、戸建て住宅やマンションの新設およびリフォーム工事が堅調に推移しました。土木建築業界

においては、政府が主導する復興需要の継続と公共投資の増加により、インフラ市場を中心とした補修・補強工事並びにストック市場におけるリニューアル工事が堅調に推移しました。自動車業界においては、上期はエコカー補助金の政策効果一巡による販売減があったものの、下期は景況感の改善に消費税増税前の駆け込み需要が相まって、販売増加の傾向が見られました。電子・電機業界においては、スマートフォンやタブレットといった携帯端末市場を中心に回復基調は見られるものの、全体としては依然として厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、平成27年3月期を目標到達年度とする中期経営計画の基本戦略に従い、コア事業での確固たる地位の確立と信頼性の確保による利益創出、事業拡大による成長戦略、アジア市場への展開を基本姿勢として、強い生産と物流体制、スピードのある研究開発部門の構築に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,128億69百万円(前期比7.7%増)、営業利益64億75百万円(前期比20.4%増)、経常利益67億4百万円(前期比25.0%増)、当期純利益37億38百万円(前期比21.2%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、世界経済は、新興国経済の景気減速、ウクライナや中東の政治情勢悪化等によるエネルギー価格高騰が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。また、日本経済におきましても、設備投資の持ち直しや公共投資の増加などを背景に、回復基調が続くことが期待される一方、消費税増税に伴う消費低迷や円安による原材料価格の上昇等の下振れリスクが潜在しております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、継続的な利益の創出と事業拡大を目的として、強い生産と物流体制のさらなる構築、また、研究開発のスピードアップを図り、コア事業の強化および周辺領域の市場発掘と育成並びにアジア市場への展開を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

近畿鉄筋コンクリート株式会社の子会社化

平成25年11月28日付けで、近畿鉄筋コンクリート株式会社（所在地：兵庫県尼崎市）の株式を取得しました。連結決算ではその他セグメントに加わります。

同社は、新設の橋梁・高速道路における鋼橋の床版工事を請け負う工事会社であり、当社が従来から取り組んできた土木建設市場に対する

さらなる展開を図るため、子会社化いたしました。これにより、同社が得意とする新設橋梁分野での事業拡大およびコニシグループが持つ補修・改修事業の販路拡大を目指します。

※床版とは、橋の上を通る車両の重みを橋桁（はしげた）や橋脚（きょうきゃく）に伝えるための床板（ゆかいた）のこと。

会社概要

■ 商号	近畿鉄筋コンクリート株式会社
■ 所在地	兵庫県尼崎市南塚口町五丁目1番5号
■ 設立	昭和32年(1957年) 2月
■ 資本金	15百万円
■ 発行済株式	30,000株

会社概要

■ 商号	矢沢化学工業株式会社
■ 所在地	群馬県邑楽郡邑楽町中野130
■ 創立	昭和23年(1948年) 5月
■ 資本金	30百万円
■ 発行済株式	30,000株

矢沢化学工業株式会社の子会社化

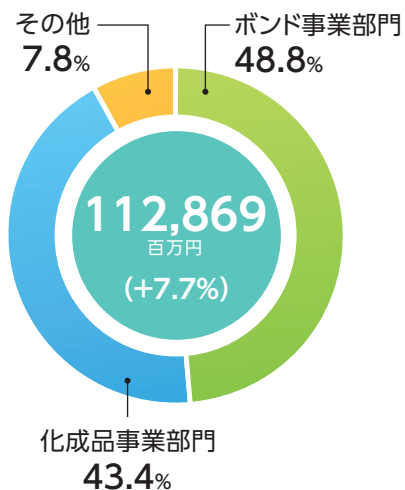
平成26年1月30日付けで、矢沢化学工業株式会社（所在地：群馬県邑楽郡）の株式を取得しました。連結決算ではボンドセグメントに加わります。

同社は、主に壁紙施工用接着剤、またパテ材や建具表装施工用接着剤の製造および販売を行う会社であり、当社が従来から取り組んでき

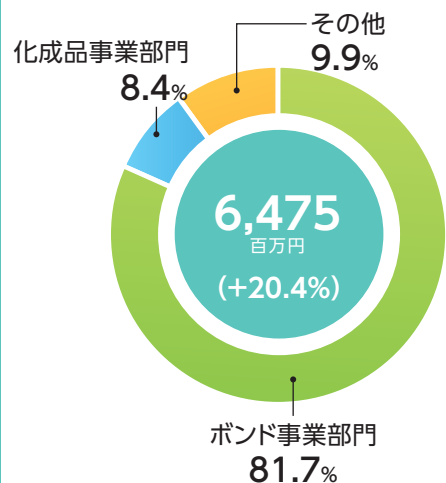
た住宅内装工事用接着剤市場に対するさらなる展開を図るため、子会社化いたしました。これにより、同社が得意とする壁紙用接着剤などの品揃えと同分野での事業拡大を目指します。



売上高



営業利益



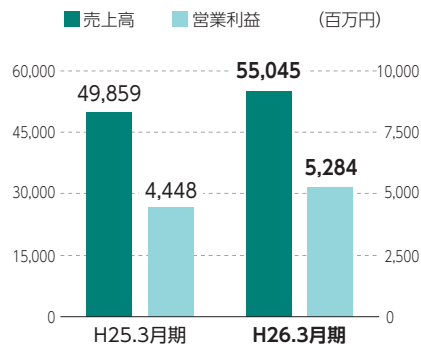
ボンド事業部門

()内は前期比

売上高

55,045 (+10.4%)
百万円 ↑

営業利益

5,284 (+18.8%)
百万円 ↑

住宅関連

戸建て住宅やマンションの新設着工が堅調に推移し、内装工事用接着剤、外装タイル用接着剤、建材用接着剤および戸建て用シーリング材が引き続き順調に売上を伸ばしました。

産業資材関連

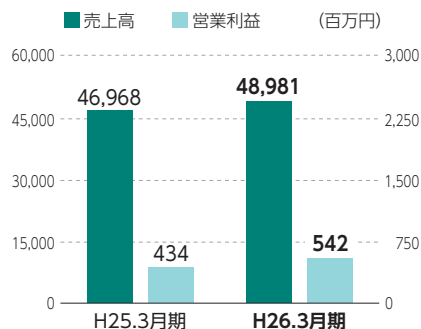
紙関連用途向け水性接着剤、パネル用途向けウレタン系接着剤および自動車関連産業向け離型剤を中心に売上を伸ばしました。

化成品事業部門

売上高

48,981 (+4.3%)
百万円 ↑

営業利益

542 (+24.8%)
百万円 ↑

化学工業・塗料業界向け

産業向け商品を中心に需要減となる中、建築塗料向け商材が堅調に推移し、売上を伸ばしました。

電子・電機業界向け

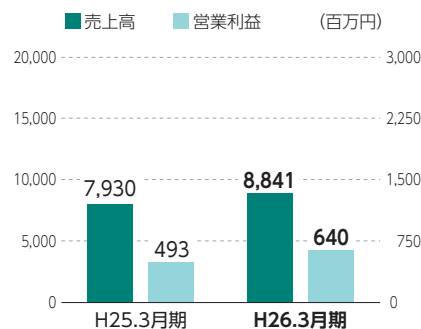
光学フィルム関連等の一部商材に新規の動きがあったものの、全体としては売上が前年実績を下回りました。

その他

売上高

8,841 (+11.5%)
百万円 ↑

営業利益

640 (+29.9%)
百万円 ↑

工事請負事業(土木建設工事業)

インフラおよびストック市場における補修・改修・補強工事が順調に推移し、売上を伸ばしました。

土木建築関連

道路、鉄道、トンネル、橋梁等のインフラ市場における補修・補強工事並びにビル、マンション等のストック市場におけるリニューアル工事が増え、補修材や工法、また、建築用シーリング材が順調に売上を伸ばしました。

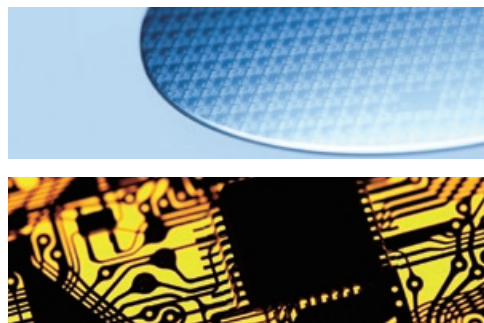
一般家庭用関連

ホームセンターに対する新規製品導入や、手芸関連製品のメディアを活用した積極的な販促活動等により、順調に売上を伸ばしました。



自動車業界向け

為替の円安基調により北米向け自動車販売やパーツメーカーの輸出が好調に推移するとともに、国内では消費税増税の影響などにより、機能性材料等の販売が堅調で売上を伸ばしました。



化学品データベース事業

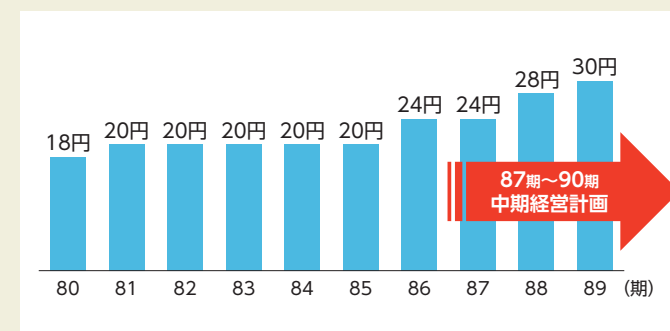
海外向けのSDS作成支援ソフトおよび海外法規データベースの受注遅延等により売上は前年実績を下回りました。



配当について

第89期(平成26年3月期)の期末配当は、2円増配の普通配当金16円とし、すでに実施いたしました中間配当金14円と合わせた年間配当金は、30円となります。また、第90期(平成27年3月期)の配当につきましては、業績予想を踏まえ、1株当たり中間配当金15円、期末配当金15円の年間30円を予定しております。

1株当たり配当金の推移



vol.3 | 土木建築分野編

新聞広告WEBサイト「ココニモコニシ」

<http://www.bond.co.jp/koko/index.html>



完成すれば見えなくなってしまうことがほとんどですが、当社の製品は社会のあらゆるところで活躍しています。そんな当社の取り組みをご紹介します『ココニモコニシ』、今回は従来当社が強みを持っている土木建築分野での取り組みをご紹介します。

建築補修、補強用接着剤・工法

1950年代からの高度経済成長期や80年代のバブル時代に建てられたコンクリート構造物は、経年劣化によりひび割れやコンクリートの欠損などが発生し、それらに対する補修・改修工事が進められています。これまでは、壊しては新しいものを作る「スクラップ&ビルド」が主流でありましたが、現在は、過去に建てられたコンクリート構造物をうまく補修・改修して、より長く利用できるように維持管理していく「ストックの延命」の時代となっています。

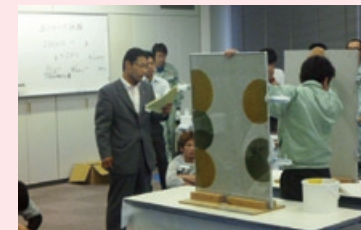
当社では、建築物の補修・改修や補強に適した接着剤・シーリング材の開発・提供にとどまらず、独自の工法を開発しています。例えば、表面に細かい亀裂が入ってしまったビルの外壁などで活躍する「ボンド シリンダー工法」は当社が独自に開発した接着剤の注入器具を使用し、低圧・低速で樹

脂を注入していきます。ひび割れ箇所に樹脂を注入し、固めることで、ひび割れ箇所から建物内部に水が浸入するのを防ぎます。

これからも外壁補修、耐震補強、表面保護などにおいて、長年取り組んできた中で培ったお客様からの信頼を元に、さらなる事業展開を図ってまいります。



全国約970社の施工業者からなる「コニシシステム工業会連合会」をサポートし、当社の接着剤や新工法に関する講習会などを定期的に行い、高い水準での施工が平準化・スタンダード化するように現場と協調した支援を行っています。さらには工業会員との連携の中で新製品・新工法の開発を目指すなど、安心して暮らせる社会づくりに多角的に取り組んでいます。





エタノールが製造販売100周年を迎えました。

1870年(明治3年)に当社は薬種商として創業しました。現在は、その流れを汲む化学品を扱う商社業としての「化成品事業」とメーカーとしての「ボンド事業」が主力事業となっています。その一つの「化成品事業」では商社業という業態は変わらないものの、取り扱う製品は、薬、アルコール飲料、食料品から合成樹脂、電子部品など、時代の流れとともに変化してきました。その歴史の中で絶えず取り扱ってきた製品、それが「月浪印」のエタノールです。

2014年、当社は1914年(大正3年)にエタノールを製造してからちょうど100年を迎えました。この100年の伝統を大切に、これからも脈々と続いていくことはもちろん、より発展していけるよう、「品質第一」のもと、取り組んでまいります。

こんなところにもエタノール

エタノールは広く工業用に利用されていますが、酒類と同一の性質を有しているため、酒類以外に利用されているものを工業用エタノールと呼んでいます。他の有機溶剤に比べて安全性が高く、さまざまな用途に利用されています。

エタノールの用途

反応、原料	エステルやエーテルなどの製造
溶 剤	塗料、印刷インキ、接着剤
調 合、抽 出	医薬品、健康食品や食品香料の製造
可 溶 化 原 料	化粧品、シャンプー、香水、液体洗剤
殺 菌、消 毒	局方エタノール、消毒剤、 外食産業のサニテーション
洗 浄	食品・医薬品製造機械、精密機器、 光学用レンズなど
燃 料 用	固形燃料、アルコールランプ



～徹底的な品質管理体制を整えた生産体制～

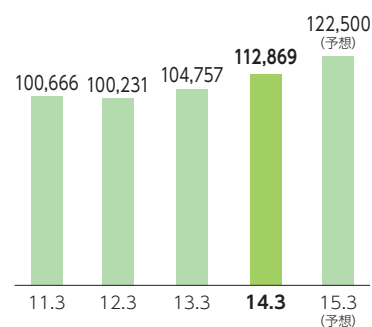
戦後の混乱の中、東京本所医薬品工場を設置。日本薬局方アルコール製造を再開した当社は、1984年(昭和59年)に大阪の今福製造所で試薬エタノールの製造許可を受け製造開始。2005年(平成17年)には滋賀工場内にエタノール製造を移管し、滋賀エタノール製造所を設立、すべての製品の製造を集約しました。最新の設備を導入し、クリーンな環境のもとで高品質な製品の安定した製造を推進しています。特に日本薬局方で求められる水準をクリアする製造工程、品質管理には高い評価を得ています。

連結業績

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高

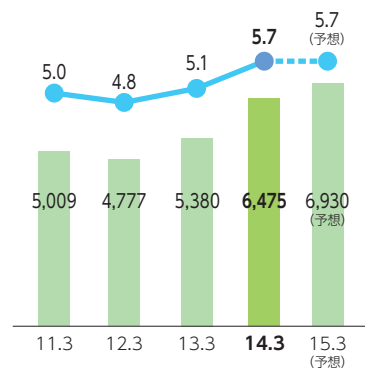
(百万円)



営業利益・営業利益率

(百万円・%)

■ 営業利益 ● 営業利益率

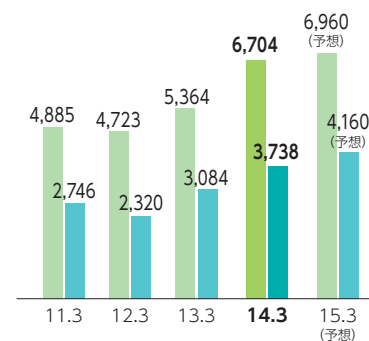


bonds事業部門で前期比+18.8% 化成品事業部門で前期比+24.8% その他で前期比+29.9%

経常利益・当期純利益

(百万円)

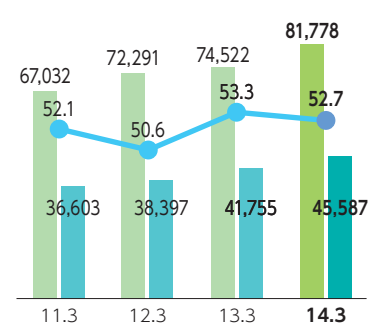
■ 経常利益 ■ 当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率

(百万円・%)

■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率

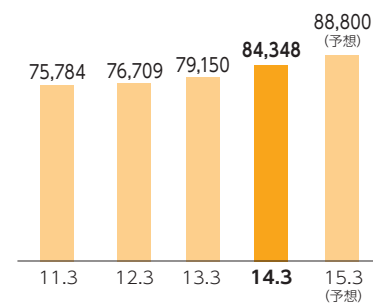


個別業績

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高

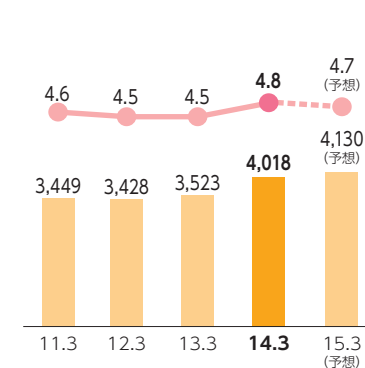
(百万円)



営業利益・営業利益率

(百万円・%)

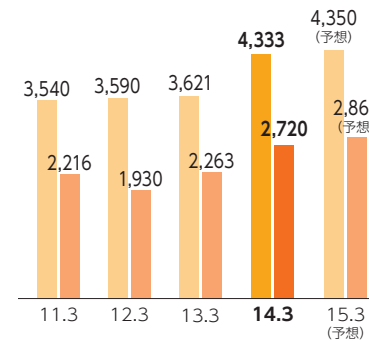
■ 営業利益 ● 営業利益率



経常利益・当期純利益

(百万円)

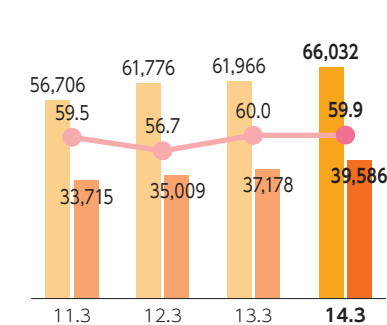
■ 経常利益 ■ 当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率

(百万円・%)

■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率

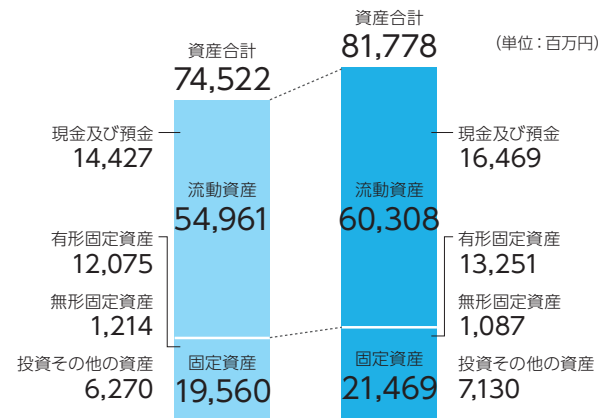


連結貸借対照表

資産の部

前連結会計年度
平成25年3月31日現在

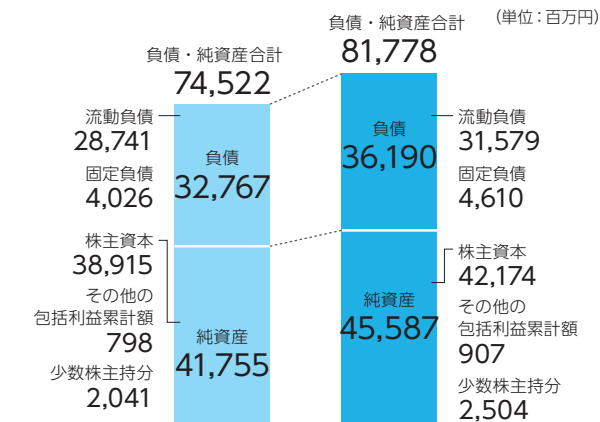
当連結会計年度
平成26年3月31日現在



負債・純資産の部

前連結会計年度
平成25年3月31日現在

当連結会計年度
平成26年3月31日現在



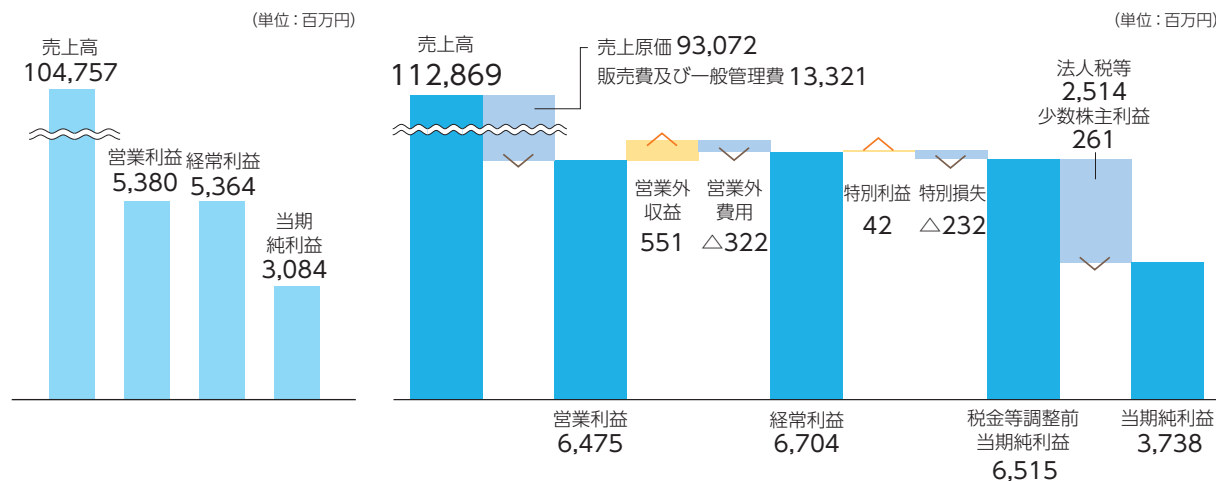
連結損益計算書

前連結会計年度

平成24年4月1日～平成25年3月31日

当連結会計年度

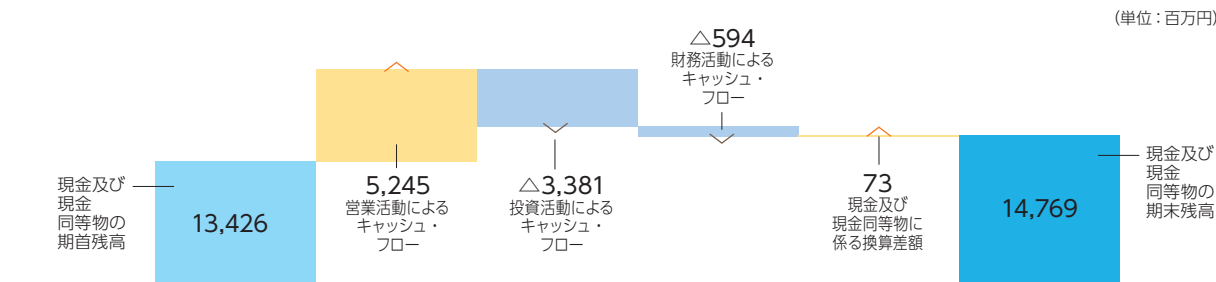
平成25年4月1日～平成26年3月31日



連結キャッシュ・フロー計算書

当連結会計年度

平成25年4月1日～平成26年3月31日



会社概要 (平成26年3月31日現在)

設 立	1925年(大正14年)9月25日
資 本 金	46億03百万円
従 業 員 数	連結1,121名、単独688名
証 券 コード	4956
事 業 所	本 店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号
	大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号 北浜TNKビル
	東京本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目3番地 竹橋スクエア
	支 店 名古屋、福岡、札幌
	営 業 所 仙台、栃木、高崎、横浜、金沢、広島、高松
	製造拠点 栃木工場、浦和工場、滋賀工場
	研 究 所 浦和研究所、基礎研究所、大阪研究所

役員 (平成26年6月20日現在)

代 表 取 締 役 会 長	大 丸 智 夫
代 表 取 締 役 社 長	横 田 隆
専 務 取 締 役	東 郷 正 人
取 締 役	小 西 哲 夫
取 締 役 兼 執 行 役 員	須 藤 孝 也
取 締 役 兼 執 行 役 員	日 下 悟
取 締 役 兼 執 行 役 員	有 澤 彰 三
取 締 役 兼 執 行 役 員	井 上 孝 一 郎
常 勤 監 査 役	高 村 輝 男
監 査 役	竹 内 鈴 子
監 査 役	坂 口 博 信
監 査 役	狩 野 仁
常 務 執 行 役 員	山 下 博 史
執 行 役 員	野 田 昌 治
執 行 役 員	松 端 博 文
執 行 役 員	大 山 啓 一

セグメントと関係会社

	ボンド事業部門	化成品事業部門	その他
コニシ(株)	ボンド営業本部 生産・研究開発本部	化成品事業本部	不動産部門
連結子会社	水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株) 矢沢化学工業(株) サンライズ・エム・エス・アイ(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司 Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)	丸安産業(株) 台湾丸安股份有限公司 科昵西貿易(上海)有限公司 Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) KF Instruments India Pvt. Ltd.(インド) PT.Konishi Indonesia(インドネシア)	ボンドエンジニアリング(株) 日本ケミカルデータベース(株) 近畿鉄筋コンクリート(株) コニシ工営(株)

*連結子会社でありましたミクニペイント(株)につきましては、平成26年1月の株式譲渡により連結対象から外れております。

平成26年6月20日時点

株式の状況

発行可能株式総数	80,400,000株
発行済株式の総数	20,353,720株
1単元の株式数	100株
株主数	5,835名

大株主 (上位10名)

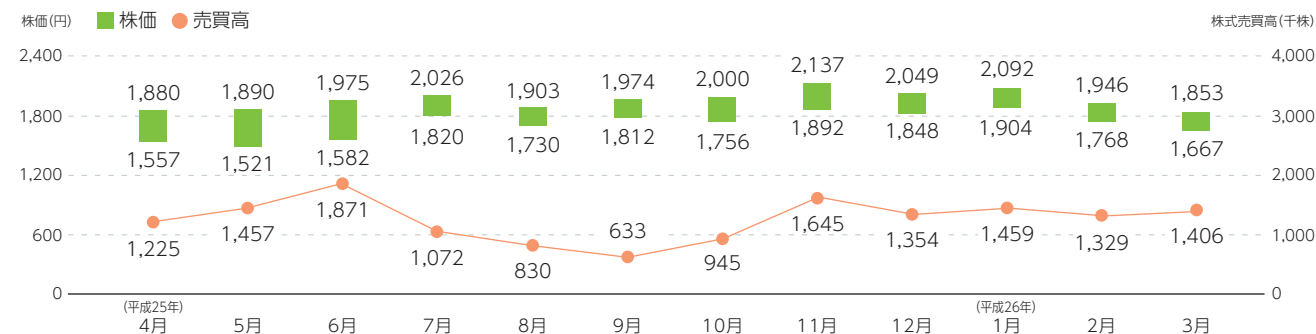
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
小西信一郎	1,485	7.52
コニシ共栄会	1,127	5.71
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	687	3.48
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	519	2.63
小西千代子	410	2.07
コニシ従業員持株会	362	1.83
株式会社三菱東京UFJ銀行	352	1.78
井上道子	345	1.74
株式会社カネカ	342	1.73
小西哲夫	309	1.56

(注1)日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、すべて信託業務に係る株式であります。

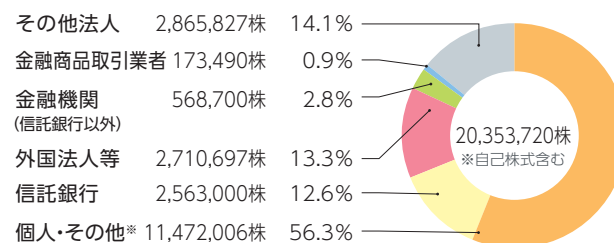
(注2)持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

(注3)持株率は、自己株式(611,281株)を控除して記載しております。
また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

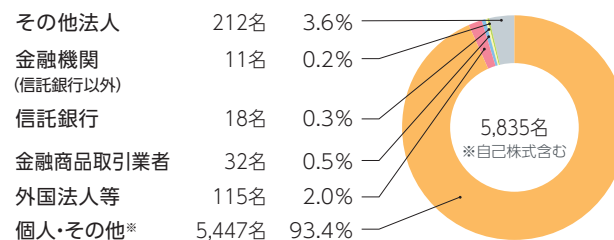
株価および株式売買高の推移



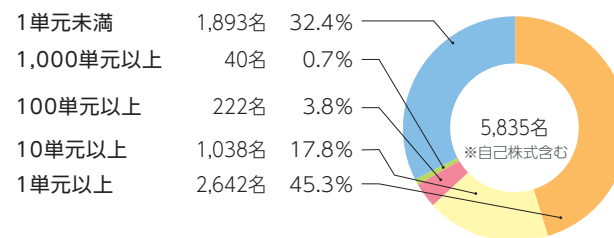
所有者別株式数の分布状況



所有者別株主数の分布状況



所有株数別株主数の分布状況



ホームページ紹介

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

アドレス
<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

K コニシ株式会社

大阪本社／〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811

東京本社／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL 03(5259)5711

株主様アンケートに ご協力ありがとうございました

第89期(平成26年3月期)第2四半期のコニシレポート(株主通信)ご送付の際に実施しました「株主様アンケート」では、大変多くの株主の皆様からご返信をいただきました。ご協力いただきました皆様に対し、深く御礼申し上げます。頂戴したご意見は、今後の経営やIR活動に活かしてまいります。なお、ご回答いただきました皆様に、御礼としまして「bond ペーパーキレイ 30ml」と「bond ウルトラ多用途S・U クリヤー 25ml」をお送りいたしました。



**UD
FONT**

見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSCの
認証紙と水なし印刷方式を採用し
ています。